

ようこそ「雨たいけん室」へ

～ 豪雨を体験して防災意識を高めよう! ～

「雨たいけん室」は、1990年に開催されたEXPO 90「国際花と緑の博覧会」において、「緑の砂防」を知っていただくため、建設省(当時)が出展した「さぼうランド」の施設のひとつを「水のめぐみ館アクア琵琶」に移設し、再利用しています。

ニュースや天気予報で伝えられる”1時間あたりの雨量”というものが、どれくらいの強さの雨なのか、1時間あたり5mmから600mmまでの4段階の雨を自分自身の感覚で体験できる施設です。

近年、ゲリラ豪雨による被害が各地で発生しており、日頃から防災意識を高めることが大切です。いざというときに備えるため、みなさんが生活の中で経験する雨との違いをアクア琵琶の「雨たいけん室」で、ぜひご体験下さい。(所要時間は約8分です。)



小学生による雨体験の様子。

【第1段階 1時間あたり5mmの雨】



1時間に5mmの雨水がたまる雨。
6月頃によく見られる雨です。

【第2段階 1時間あたり35mmの雨】



大阪で2年に1度くらい降る雨です。

【第3段階 1時間あたり187mmの雨】



1時間あたりの雨の日本記録です。
1982年(昭和57年)の長崎豪雨で記録されました。

【第4段階 1時間あたり600mmの雨】



雨たいけん室で体験できる最大の雨です。ちなみに世界記録は、1952年にインド洋で記録された1日あたり1870mmの雨ですが、1時間あたりの記録は残っていません。



「雨たいけん」した
みなさんの声を
ご紹介します。

これまで豪雨を経験し
ていないので、貴重な
体験ができました。

子どもたちが安
全に楽しんで体
験できました。

百聞は一見に
しかず。体験
すればわかる。



身近にこんな豪雨
が降ったらどうなる
のかと想像しました。

ほかにもこんな声をいただきました。

これまで雨量何ミリと聞いてもピンとこなかった。豪雨の何たるかが感じられた。豪雨が傘にあたる力や音、息詰まるような感覚は映像では伝わらない。最近、台風による水害があったばかりなので、その恐ろしさを想像できた。豪雨では歩いて避難することも困難になることに気づきました。豪雨の怖さを現実として受け止めることができた。

ぜひ体験
してね！

